

内浦公民館だより

令和7年11月14日発行

(2025) <vol.146>

# Artfull うちうら

[発行]

内浦公民館

〒919-2351

高浜町山中 104-4-2

TEL.0770-76-2007

FAX.0770-76-2008

E-mail

uchiura\_c.c@town.takahama.lg.jp

内浦公民館講座

草木染め教室

天然藍エキスでいろんな物を染めてみよう



深みのある  
藍色です



令和7年10月4日(土)

内浦公民館2階調理実習室で『草木染め教室』を開催しました。講師は永登裕芳理さん。エコバック、ストールの他に、服やコースターを染める方もおられました。少し色あせて処分を考えていた物も、深みのある藍色に染めることで見事に復活させる事ができました。繰り返し染めながら大切に使う昔ながらの知恵に改めて感心されていました。

交通安全教室<<後期>>

反射材を活用して、身を守りましょう



令和7年10月7日(火)

内浦公民館2階多目的ホールで『交通安全教室』を開催しました。講師は高浜町交通安全推進員の山本智子さんと清水妙子さん。交通事故の件数と事例を説明された後に○×クイズを出題されました。皆さんは今まで教わってきた復習になり、交通事故に合わないよう気をつける事を再確認されていました。楽しみながら学ばれました。

● 開館時間 午前8時30分～午後10時

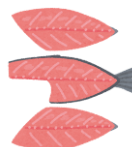
● 利用時間 午前9時～午後9時30分 夜間利用が無い場合は午後5時で閉館いたします。

<12月と年末年始休館日> 1日(月)・8日(月)・15日(月)・21日(日)・22日(月)・28日(日)～1月5日(月)

## 魚さばき教室

美味しい魚を

食べよう



令和7年10月18日(土)

内浦公民館2階調理実習室で『魚さばき教室』を開催しました。講師は栗駒裕之さん。高浜の海でとれた新鮮な魚を家庭でも調理できるように、三枚おろしの方法を分かりやすく教えていただきました。鱗をとる際のアドバイスや、内臓を取り出した後の洗い方など、知って得する教室でした。

## 地域ニュース

### 原子力防災対策施設(内浦公民館)説明会



令和7年10月25日(土)

内浦地区区長会の皆さんが高浜町防災安全課職員から内浦公民館の原子力防災対策施設運営の説明を受けました。原子力災害時にはどのような手順で一時避難所を開設するのか施設内を見学されました。

## 内浦地区敬老会



令和7年10月26日(日)

内浦公民館2階多目的ホールで『第35回 内浦地区敬老会』が行われ11区の皆さんが集まりました。米寿になられた皆さんをお祝いし、アトラクションを楽しみました。久しぶりに顔をあわせた皆さんは帰り際、来年の再会を約束されていました。



## 館長の《こーひーぶれいく》No.127



今回は 貫井徳郎 著「紙の梟(フクロ) ハーシュソサエティ」です。

「人ひとり殺したら死刑」というルールが確立された社会。この状況下における 5 編のミステリです。日本の司法では、一人を殺せば死刑から三人を殺せば死刑にシフトしてきた歴史がある。裁判員制度により無罪判決が増え、再犯と思しき事件が多発し、これに憤る市民感情により、厳罰化がすすめられ、単純明快なルールが採用されたのだった。

### 第一部 第一話「見ざる、書かざる、言わざる」

有名デザイナーが突然襲われ、両手指、両目、舌を切り取られた姿で発見される。生命にかかわる状況ではなかったが、社会生活を送ることを不能にされてしまう。犯人の目的は何なのか。被害者のパソコンの中のデザインを盗むために、指紋認証を解除する被害者の指が必要だったのだ。

命を奪わない限り死刑は免れることを犯人は分かっていたうえでの犯行だった。このことに世論の反発は大きくなり、重傷害罪が新設され最高刑は死刑となった。この法によって相手の命を奪わなくても死刑が適用されることとなった。

### 第二話「籠の中の鳥たち」

六人の大学生がオフシーズンの別荘地で、一人が女性メンバーを襲った浮浪者を撲殺してしまう。正当防衛であれ、何であれひとり殺せば死刑である。彼らは仲間を死刑から守るために死体を埋めようとするが、その矢先に仲間内で殺人事件が発生する。遺体を隠す行為は事後従犯で死刑とされており、メンバーの一人が法の裁きに代えて全員を殺そうとしていたのだった。

### 第三話「レミングの群れ」

男子中学生がいじめを苦に自殺し、三人の加害者の住所や名前や顔写真までがネットに晒されるようになる。義憤に駆られた一般市民は加害者家族を責め立てるようになる。その家族は行方をくらますが、首謀者とされる生徒が通り魔に刺殺された。犯人は自殺志願者で“社会のダニを殺して国家に殺してもらう”と目的を語り、ネットが肯定派と否定派に割れ、死刑が抑止力を失った社会が暴走していく。やがていじめを見過ごした教師や校長、教育委員長にまで殺害が及んでいく。

## 第二部 紙の梟

笠間の恋人紗弥が殺された。彼女には住民票も戸籍もなく身元を偽っていた。加害者の瀬尾はすぐに逮捕され、瀬尾の父が多額の金を紗弥に貢ぎ、自殺していたことが動機だった。笠間の知っている紗弥は質素で優しい性格だった。笠間は紗弥の過去の情報を得るために、そして瀬尾が反省し死刑になることを望まないことを、ネットに投稿する。死刑反対を表明した瞬間から、笠間は世間から糾弾すべき対象となってしまう。

世界の総意が死刑廃止を指向するなか、日本だけが死んで詫びるという謝罪方法が意識の根底にしみ込んでいたのだ。そんな中でも少しずつ紗弥の悲惨な過去と心情があきらかになっていき、笠間が抱いていたとおりの紗弥だったと確信する。



最初の第一部は死刑制度への読者への問いかけであり、第二部の笠間の行動は、それに対する答えとなっており、少し救われる結末となっています。

現実とは異なる架空の設定ですが、ネットを介する正義や処罰感情が暴走していく社会は現実かもしれません。「ハーシュソサエティ」とは「厳しい社会」という意味です。厳しくあるべきは、他人にではなく、ネットの世界にのめり込み、同調圧力に加担してしまう自分自身なのだと思います。

## 内浦地区防災研修会と救命対応研修・初期消火研修



令和7年11月1日(土)

内浦公民館 2階多目的ホールで内浦地区防災研修会が行われました。講師は、まちの防災研究会 理事長 松森和人さん。土砂災害と避難所運営についてお話されました。自分達はどんな地質に住んでいるのか知る事、避難所開設の訓練が必要で、災害関連死を防ぐルール作りの大切さを教わりました。次に若狭消防高浜分署の講師お二人に AED の使い方と消火器を使った初期消火の方法を詳しく教わりました。

### これからの内浦公民館講座のお知らせ

#### ● 楽しいアウトドア ～災害時に便利なキャンプ道具～

日 時:12月13日(土) 10:00～11:30

講 師:高田慎平さん

場 所:内浦公民館 1階 会議室



#### ● からだを整える季節の雑穀料理～そば～

日 時:12月14日(日) 13:30～15:00

講 師:山崎慶子さん

場 所:内浦公民館 2階 調理実習室



#### ● フラワーアレンジメント教室

日 時:12月27日(土) ① 10:00～11:30 ② 13:30～15:00

講 師:馬場友子さん

場 所:①は【あおば憩いの家】 ②は【内浦公民館 会議室】



11月18日(火)・12月2日(火) 元気あっぷ生き活き倶楽部

内浦公民館 2階多目的ホール 13:30～15:00

皆さんで楽しみながら体操しましょう！